

騒音振動管理ソフト

e-DamWin with EC-AKT02

初期操作マニュアル

目次

【インストール編】

1. e-DamWin with EC-AKT02のインストール
e-DamWin with EC-AKT02インストール手順..... 3

【モードの選択編】

2. モードの選択
モードについて..... 8

【かんたんモード編】

3. かんたんモードの起動
かんたんモードの起動手順..... 9
4. SDカードデータ取り込み
SDカードデータ取り込み手順..... 10
5. 日報の作成
日報の作成手順..... 12
6. 月報の作成
月報の作成手順..... 16
7. 標準モードへデータ移管
標準モードへデータ移管手順..... 20

【標準モード編】

8. 標準モードの起動
標準モードの起動手順..... 23
9. 現場名の登録
現場名の作成手順..... 24
10. 設置場所情報の登録
設置場所情報の登録手順..... 25
11. SDカードデータの取り込み
SDカードデータの取り込み手順..... 26
12. 日報の作成
日報の作成手順..... 28
13. 月報の作成
月報の作成手順..... 30

【インストール編】

※ソフトをインストールする前に付属のUSBキーを挿し込まないでください。

1.e-DamWin with EC-AKT02のインストール

■ e-DamWin with EC-AKT02のインストール手順 ■

※手順はWindows11のパソコンを対象としておりますので、OSや環境によって表示や手順が異なる場合があります。

●インストールされるドライバー・ソフトウェア

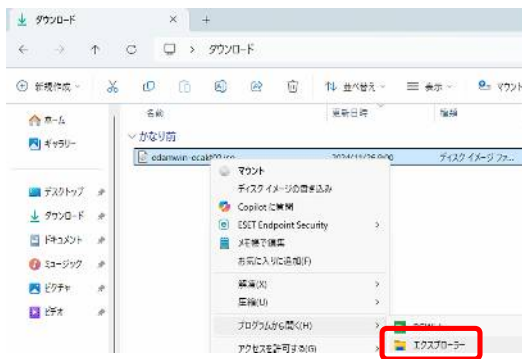
- 1.SAP Crystal Report runtime engine for .net Frame Work 32bit 64bit(レポート用ソフトウェア)
- 2.Wibu key(ワイブキー)ドライバ
- 3.e-DamWin with EC-AKT02(騒音振動管理ソフト)

1./パソコンに「e-DamWin with EC-AKT02」をダウンロードします。

※ ダウンロード手順は別紙参照

2.「e-DamWin with EC-AKT02.ISO」を開きます。

- 2-1.「ダウンロードフォルダ」を開く
- 2-2.「e-DamWin with EC-AKT02.ISO」を右クリックする
- 2-3.「プログラムから開く」を選択する
- 2-4.「エクスプローラー」をクリックする



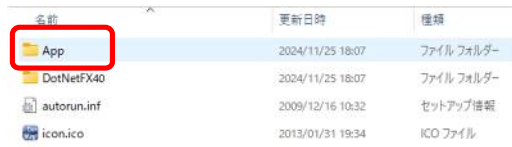
3.「セキュリティの警告」が表示されるので「開く」をクリックします。



4.「e-damwin-EC-AKT02」フォルダを開きます。



5.「App」フォルダを開きます。



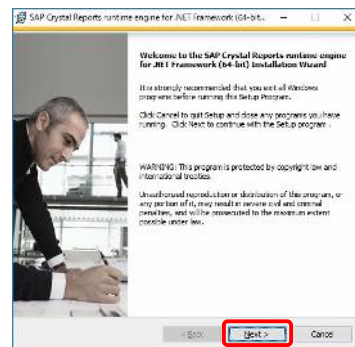
6.「Crystal Reports for .NET Framework 4.0」フォルダを開きます。



7.「CRRuntime64bit_64bit_13_0_9.msi」をダブルクリックします。

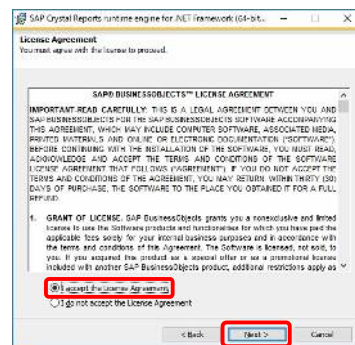


8.クリスタルレポートのインストールウィザードが表示されます。「Next」をクリックします。



9.使用許諾画面が表示されます。

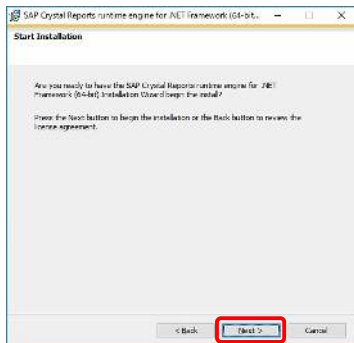
「I accept the License Agreement」にチェックを付け「Next」をクリックします。



【インストール編】

※ソフトをインストールする前に付属のUSBキーを挿し込まないでください。

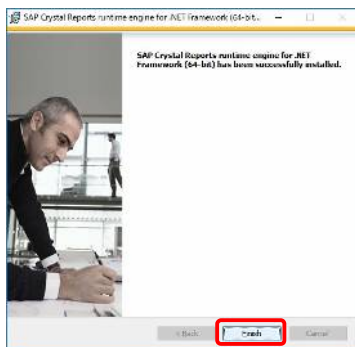
- 10.インストール開始画面が表示されます。
「Next」をクリックします。



- 11.「ユーザーアカウント制御」が表示されますので「はい」をクリックしてインストールが開始されます。



- 12.インストール成功画面が表示されます。
「Finish」をクリックします。



- 13.クリスタルレポートのインストールが完了します。
※ エラーが出てインストールが完了できない場合は、一度パソコンを再起動して、7.項目で「CRRuntime64bit_32bit_13_0_9.msi」のインストールを実施してください。
「CRRuntime64bit_32bit_13_0_9.msi」がインストールできたら「CRRuntime64bit_64bit_13_0_9.msi」のインストールを実施してください。
上記もインストールできない場合はお問い合わせください。

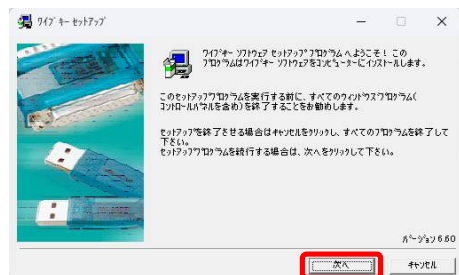
- 14.「Crystal Reports for .NET Framework 4.0」から1つ前のフォルダへ戻り「Wibukey」フォルダを開きます。



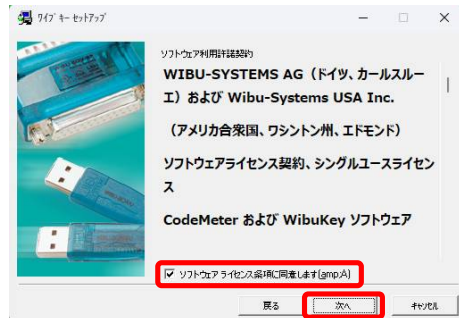
- 15.「WKRruntime.exe」をダブルクリックします。



- 16.「ユーザーアカウント制御」が表示されますので「はい」をクリック「ワイブキーセットアップ」が表示されますので「次へ」をクリックします。



- 17.「ソフトウェア利用許諾契約」が表示されますので「ソフトウェアライセンス条項に同意します」をチェックし「次へ」をクリックします。



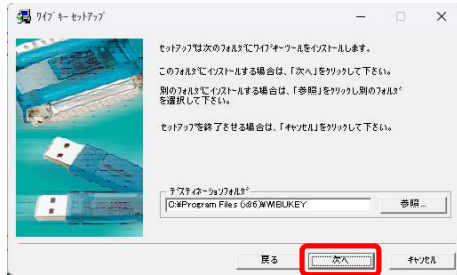
- 18.「言語の選択」が表示されますので「日本語」のまま「次へ」をクリックします。



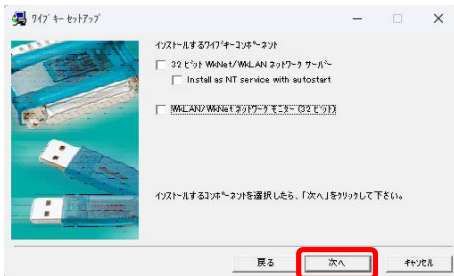
【インストール編】

※ソフトをインストールする前に付属のUSBキーを挿し込まないでください。

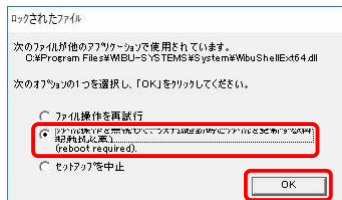
19.「インストールするフォルダの選択」が表示されますので「次へ」をクリックします。



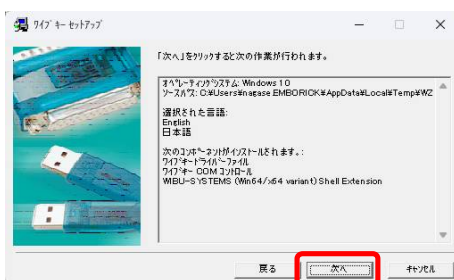
20.「インストールするワイブキーコンポーネント」が表示されますので2つのチェックを外し「次へ」をクリックします。



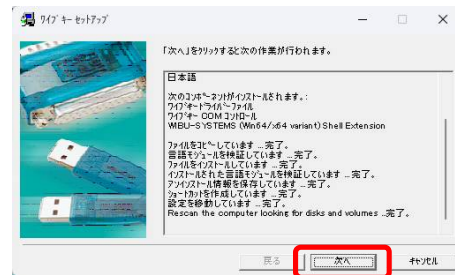
21.「ロックされたファイル」が表示される場合は2番目をクリックし「OK」をクリックします。
※ 表示されない場合もあります。



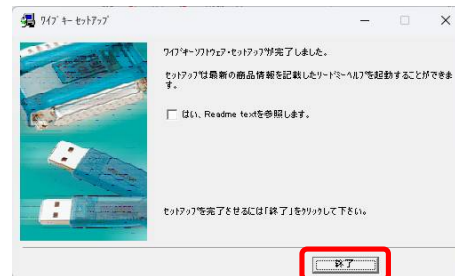
22.「次へ」をクリックしインストールを開始します。



23.インストールが完了すると「次へ」が表示されますのでクリックします。



24.「はい、Readme ttextを参照します。」のチェックを外し「終了」をクリックします。



25.「ワイブキードライバのインストールに成功しました。」が表示されますので「OK」をクリックします。



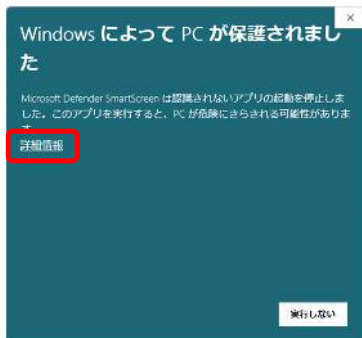
26.「Wibukey」フォルダから1つ前のフォルダに戻り「installer.exe」をダブルクリックします。



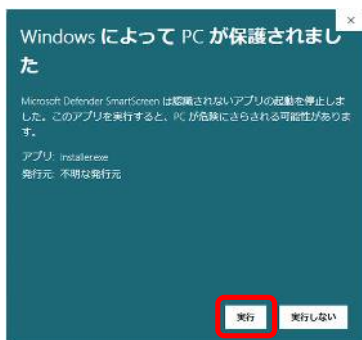
【インストール編】

※ソフトをインストールする前に付属のUSBキーを挿し込まないでください。

27.「WindowsによってPCが保護されました」が表示されますので「詳細情報」をクリックします。



28.「実行」ボタンが表示されますのでクリックします。



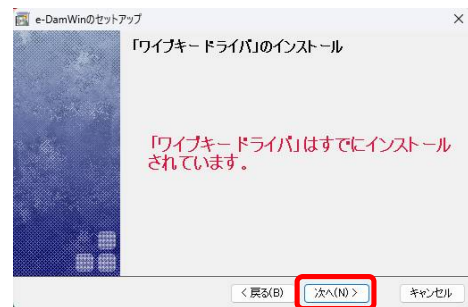
29.「e-DamWinのセットアップ」が表示されますので「次へ」をクリックします。



30.「クリスタルレポートランタイム」はすでにインストールされています。と表示されますので「次へ」をクリックします。



31.「ワイブキードライバはすでにインストールされています。」と表示されますので「次へ」をクリックします。



32.「インストール先のフォルダ指定」が表示されますので「次へ」をクリックします。



33.「インストール先のフォルダが存在しません。新しくフォルダを作成してもよろしいですか?」と表示されますので「はい」をクリックします。



34.「デスクトップにショートカットを作成する」にチェックが入っており「次へ」をクリックします。

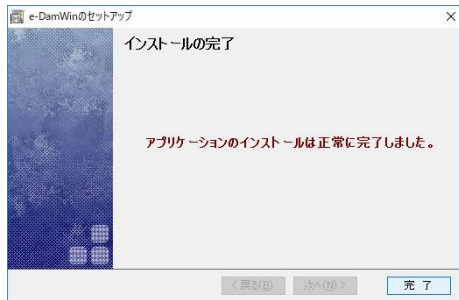


35.e-DamWinのインストールが開始されます。

【インストール編】

※ソフトをインストールする前に付属のUSBキーを挿し込まないでください。

36.「インストールの完了」が表示されますので「完了」をクリックします。



37.パソコンのデスクトップにアイコンが作成されインストールが完了します。




38.パソコンにソフト起動用のUSBキーを挿し込み1分程度待つてからe-DamWinを起動します。

※ パソコンにUSBキーを挿し込むとパソコンの内部で「新しいデバイスの認識」機能でUSBキーの認識を開始します。USBキーの認識が完了する前にe-DamWinを起動するとUSBキードライバが破損し起動できなくなります。その場合は一度USBキードライバをアンインストールしてパソコンを再起動後、USBキードライバをインストールしてください。

※ USBキーを挿し込んでから待つ時間は、パソコンの動作環境により1分以上待っていただく場合があります。

■ e-DamWin with EC-AKT02のアンインストール手順 ■

1.画面左下の「スタートボタン」  をクリックします。

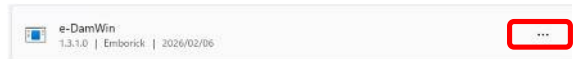
2.歯車の「設定ボタン」  をクリックします。
設定

3.左側の「アプリ」  アプリ をクリックします。

4.「インストールされているアプリ」をクリックします。



5.「e-DamWin」の・・・をクリックします。



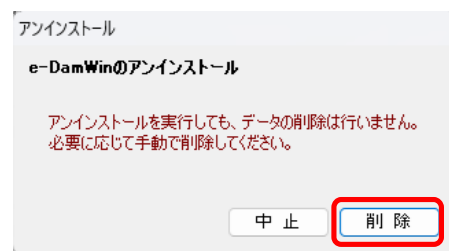
6.「アンインストール」をクリックします。



7.「アンインストール」をクリックします。



8.「ユーザーアカウント制御」が表示されますので「はい」をクリックし「e-DamWinのアンインストール」で「削除」をクリックしe-DamWinをアンインストールします。



9.「インストールされているアプリ」の一覧で「SAP Crystal Reports engine for .NET Framework (64bit)」の・・・からアンインストールします。



10.「インストールされているアプリ」の一覧で「Wibukey Setup(Wibukey Remove)」の・・・からアンインストールします。



【モードの選択編】

2.モードの選択

■ モードについて ■

e-DamWin with EC-AKT02には、下記の2つのモードが搭載されています。
それぞれのモードについて説明します。

標準モード

すべての機能を搭載したモードです。搭載している機能は下記になります。(P22～)

かんたんモード

データ取り込み、日報・月報印刷のみのモードです。(P8～)

【かんたんモード 起動編】

3.かんたんモードの起動

■ かんたんモードの起動手順 ■

1.e-DamWin with EC-AKT02を起動すると、毎回「モード選択画面」が表示されます。「かんたんモード」をクリックします。



2.e-DamWin with EC-AKT02かんたんモード画面が表示されます。



【かんたんモード データ取り込み編】

4.SDカードデータ取り込み

■ SDカードデータ取り込み手順 ■

※ SDカードのデータを取り込んだ際に、SDカードのファイル(ELD)は削除されません。

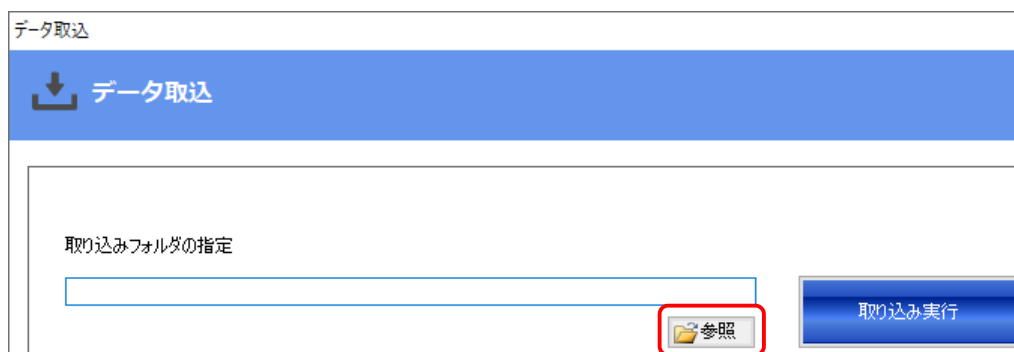
※ データの取り込みは、「抜けデータがあった場合に取り込む」ため、同日のデータがあった場合は上書きはされません。

1.かんたんモード画面の「データ取り込み」をクリックします。

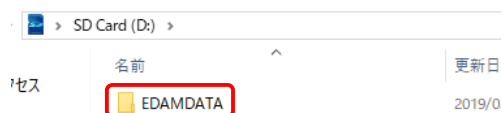


2.e-DamWin with EC-AKT02かんたんモード画面が表示されます。

「参照」をクリックします。



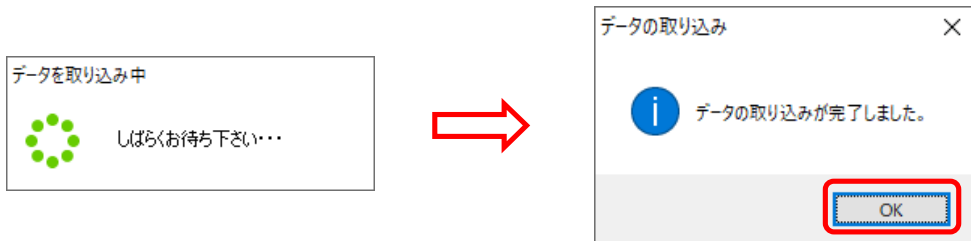
3.SDカード内の【EDAMDATA】フォルダを選択し、「取り込み実行」をクリックします。



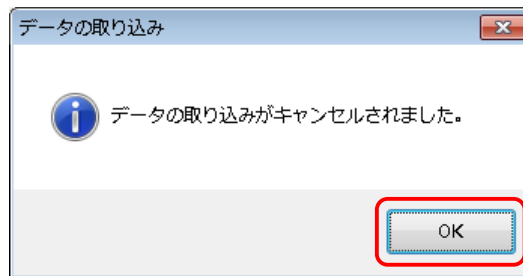
【かんたんモード データ取り込み編】

5.データ取り込み中となり、「データの取り込みが完了しました。」メッセージが表示されたら【OK】をクリックしデータ取り込みが完了します。

※ 同日のデータを取り込んだ際に、データの上書きはされません。



※ 下記のメッセージが表示された場合は、SDカードから直接データの取り込みができませんので、【OK】をクリックしてメッセージを閉じ、下記の事項を確認してください。



◆確認事項

SDカード内にデータが入っているか

SDカード内に下記のフォルダ及びファイルがあるか確認してください。

フォルダ:【EDAMDATA】

ファイル:ELD拡張子のファイル

データが入っている場合

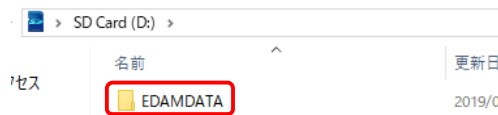
SDカード内の【EDAMDATA】フォルダをデスクトップへコピーし、デスクトップから取り込みを実施してください。

データが入っていない場合

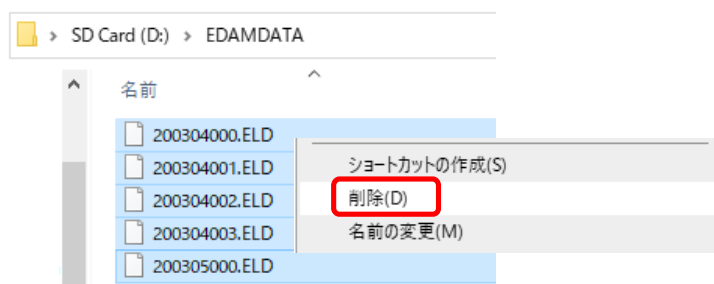
パソコンへSDカード内に【EDAMDATA】フォルダ及び.ELDファイルが入っているSDカードを挿入してください。

◆SDカードのデータ削除手順

1.SDカード内の【EDAMDATA】フォルダを開きます。



2.ELDファイルを選択し、右クリックから削除します。



【かんたんモード 日報の作成編】

5.日報の作成

■ 日報の作成手順 ■

※「データ取込」が完了していない場合は、「データ取込」を先に実施してください。

1.かんたんモード画面の「日報」をクリックします。



2.日報作成画面が表示されます。



【かんたんモード 日報の作成編】

3.下記の①～⑧を選択・入力します。

①測定日: 日報を作成する日付を選択します。(必須項目)

測定日の枠内(日付の文字)をクリックするとカレンダーが表示されます。



日付はカレンダーの数字をクリックします。

背景がオレンジ色の日が、印刷データがあります。

②時間帯: 日報に計測値を記載する時間帯を選択します。(必須項目)

③印刷日を出力する: 日報に印刷日を入れる場合に選択します。(必須項目)

④現場名(レポート表示用): 日報に表示する現場名を入力します。(全角50文字まで)

※ 現場名を入力しなくても印刷はできます。

⑤設置場所名(レポート表示用): 日報に表示する設置場所名を入力します。(全角50文字まで)

※ 設置場所名を入力しなくても印刷はできます。

⑥特記事項: 日報に記載する特記事項を入力します。(全角50文字まで)

⑦規制値: グラフに表示する規制値の値を入力します。

⑧詳細設定: 日報の詳細設定をします。

10分演算の画面

1時間演算の画面

(1)演算タイプ: 10分 or 1時間を選択します。

(2)グラフ表示項目(10分演算): 日報に表示する数値とグラフの騒音値・振動値の項目を選択します。

※ 既定値は、騒音L05・振動Lv10です。

※ 1回に選択できるのは1項目です。複数項目が必要な場合は、それぞれ印刷してください。

(3)グラフ表示項目 騒音値(1時間演算): 日報に表示するグラフの騒音値の項目を選択します。

騒音データ表示(1時間演算): 日報に表示する数値の騒音値の項目を選択します。

※ 既定値は、騒音L05です。必要に応じて変更してください。

※ 1回に選択できるのは1項目です。複数項目が必要な場合は、それぞれ印刷してください。

(4)グラフ表示項目 振動値(1時間演算): 日報に表示するグラフの振動値の項目を選択します。

振動データ表示(1時間演算): 日報に表示する数値の振動値の項目を選択します。

※ 既定値は、振動Lv10です。必要に応じて変更してください。

※ 1回に選択できるのは1項目です。複数項目が必要な場合は、それぞれ印刷してください。

【かんたんモード 日報の作成編】

(5)グラフ表示項目ヘルプ:「騒音・振動レベルについて」の解説が表示されます。

騒音・振動レベルについて ✕

騒音値	振動値	解説	
L05	Lv05	時間率レベル	一定期間のデータを大きい順に並べなおし、上5%と下5%を取り除いた90%レンジの一番上の値
L10	Lv10		一定期間のデータを大きい順に並べなおし、上10%と下10%を取り除いた80%レンジの一番上の値
L50	Lv50		一定期間のデータを大きい順に並べなおした50%の値
L90	Lv90		一定期間のデータを大きい順に並べなおし、上10%と下10%を取り除いた80%レンジの一番下の値
L95	Lv95		一定期間のデータを大きい順に並べなおし、上5%と下5%を取り除いた90%レンジの一番下の値
Lmax	Lvmax	最大値レベル	一定期間のデータを大きい順に並べなおした一番上の値
Lmin	Lvmin	最小値レベル	一定期間のデータを大きい順に並べなおした一番下の値
Leq	Lveq	等価レベル	一定期間の変動騒音を、一定期間の平均値に変換した値

※環境省の法令では特定建設作業の騒音値はL05、振動値はLv10を使用するとされています。

(6)グラフレンジ:日報に表示するグラフのレンジ幅を選択します。

(7)表示振動方向:日報に表示する振動値の計測方向を選択します。

4.①～⑧を選択・入力したら、「レポート作成」をクリックします。

「レポートを作成中」メッセージが表示されます。

※ 現場名や設置場所名は、「レポート作成」をクリックすると保存されます。

The screenshot shows the '日報' (Daily Report) window with various input fields for date, time, and location. A 'レポート作成' (Create Report) button is highlighted with a red box. A red arrow points from this button to a separate window titled 'レポートを作成中' (Creating Report) which shows a loading spinner and the text 'しばらくお待ち下さい...' (Please wait a moment...). The 'レポート作成' button is located in the top right area of the main window, and the 'レポートを作成中' window is shown to the right of the main window.

【かんたんモード 日報の作成編】

5.上記のメッセージが消えると、日報のプレビュー画面が表示されます。

印刷プレビュー

PDF出力 印刷 閉じる

SAP CRYSTAL REPORTS®

メインレポート

騒音振動測定結果報告書 印刷日: 2018年5月1日(火曜日)

観測名 : アクティオデモ現場
 設置場所 : デモ騒音振動計
 測定日 : 2018年5月1日(火)
 観測値 : 騒音 85.0 dB
 測定条件 : 騒音 騒音 騒音 騒音 騒音
 騒音レベル : 騒音レベル 騒音レベル 騒音レベル 騒音レベル 騒音レベル
 騒音レベル : 騒音レベル 騒音レベル 騒音レベル 騒音レベル 騒音レベル
 特記事項 :

時間	騒音レベル L05					騒音レベル Z軸 Lv10						
	0	10	20	30	40	50	0	10	20	30	40	50
00:00	41.0	42.0	46.8	42.7	42.1	41.1	25.4	25.7	19.7	25.5	25.4	24.9
01:00	41.7	42.4	48.5	40.1	42.8	38.9	23.8	20.5	25.9	19.0	25.5	21.3
02:00	41.0	40.6	39.2	39.8	40.1	40.0	25.8	25.0	23.7	19.6	30.4	26.0
03:00	38.7	39.4	40.0	38.8	39.9	38.3	22.3	22.6	24.7	17.4	24.5	22.9
04:00	40.4	38.3	39.6	39.3	40.2	39.8	25.6	20.9	25.2	19.1	25.2	24.4
05:00	40.8	40.4	40.3	43.2	42.4	42.6	25.4	23.1	30.3	28.7	28.3	27.6
06:00	46.3	43.5	47.6	47.4	49.3	47.1	30.1	33.1	31.7	31.3	32.7	32.8
07:00	47.7	46.8	45.0	46.7	48.2	48.0	32.6	35.5	33.2	34.3	32.3	33.5
08:00	50.4	49.5	52.0	63.2	59.6	63.7	33.9	35.7	36.7	39.6	40.2	49.2
09:00	60.7	60.6	61.1	63.0	63.0	59.9	41.3	42.2	40.9	41.4	39.0	36.9
10:00	53.7	56.1	57.9	55.1	60.3	64.6	37.8	36.1	36.7	37.0	39.5	41.5
11:00	62.3	60.7	59.7	63.5	62.9	57.9	40.4	42.2	40.9	37.9	38.7	36.6
12:00	57.0	53.6	61.2	60.8	56.5	54.2	34.9	39.7	39.9	41.3	38.2	38.4
13:00	56.9	60.0	60.4	60.1	63.8	64.9	39.0	41.0	41.3	41.2	40.1	40.6
14:00	64.9	58.3	62.4	63.5	64.4	64.2	41.8	39.7	39.4	38.5	39.3	38.5
15:00	56.9	56.8	53.3	58.7	62.5	65.1	39.9	40.2	37.0	38.3	41.7	42.3
16:00	62.9	59.9	60.8	59.9	56.8	53.4	42.3	41.8	43.3	39.3	38.2	35.5
17:00	47.4	53.8	54.3	46.7	50.6	45.9	35.0	34.3	35.1	34.5	35.1	34.7
18:00	48.9	50.9	46.7	49.0	45.2	48.6	34.1	33.7	34.9	33.9	33.4	32.6
19:00	46.6	46.8	46.0	49.1	47.2	47.9	32.8	32.2	31.2	30.1	29.4	30.5
20:00	48.9	47.5	46.1	48.2	49.1	47.9	29.5	27.5	31.4	27.9	26.7	26.8
21:00	43.5	43.4	43.1	43.0	48.3	50.6	27.4	30.2	26.7	25.1	26.7	26.0
22:00	48.0	48.2	43.7	49.6	42.2	46.4	31.2	30.7	28.1	29.2	26.4	27.1
23:00	43.1	42.7	43.6	44.3	50.1	46.0	28.1	25.1	30.0	28.2	29.6	28.3

(dB) **騒音グラフ (L05)**

(dB) **振動グラフ Z軸 (Lv10)**

※測定条件は以下に準じております。
 <騒音> 騒音規制法第18条第1項に基づき定められた「特定施設作業に伴って発生する騒音に関する基準」の備考2
 <振動> 「振動規制法施行規則別表第1(第11条関係)の備考2

現在のページ番号: 1 | 合計ページ数: 1 | スムール率: 80%

PDF出力・・・日報をPDF出力します。デスクトップなどに保存してください。

印刷・・・・・・日報をプリンタで印刷します。プリンタを選択してください。

※ 内容を変更したい場合は、「閉じる」をクリックし設定項目を変更してから、再度「レポート作成」をクリックしてください。

騒音振動管理ソフト e-DamWin with EC-AKT02初期操作マニュアル

15

【かんたんモード 月報の作成編】

6.月報の作成

■ 月報の作成手順 ■

1.かんたんモード画面の「月報」をクリックします。



2.月報作成の画面が表示されます。



【かんたんモード 月報の作成編】

3.下記の①～⑥を選択・入力します。

①測定月:月報を作成する月を選択します。

測定日の枠内(月の文字)をクリックするとカレンダーが表示されます。



月はカレンダーの数字をクリックします。

背景がオレンジ色の月が、印刷データがあります。

②印刷日を出力する:月報に印刷日を入れる場合に選択します。(印刷当日の日付が入ります。)

③現場名(レポート表示用):月報に表示する現場名を入力します。

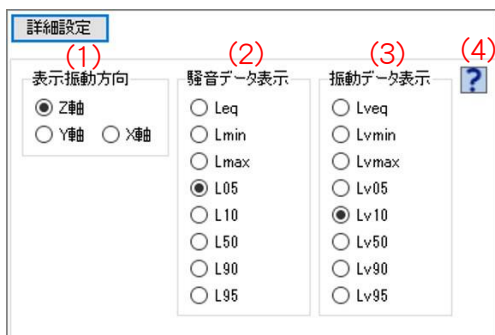
※ 現場名を入力しなくても印刷ができます。

④設置場所名(レポート表示用):月報に表示する設置場所名を入力します。

※ 設置場所名を入力しなくても印刷ができます。

⑤特記事項:月報に記載する特記事項を入力します。入力をしなくても構いません。

⑥詳細設定:月報の詳細設定をします。



(1) 表示振動方向:Z軸・Y軸・X軸から選択します。

※ 既定値は、Z軸です。必要に応じて変更してください。

(2) 騒音データ表示:騒音の演算値を選択します。

※ 既定値は、騒音L05です。必要に応じて変更してください。

※ 1回に選択できるのは1項目です。複数項目が必要な場合は、複数回印刷してください。

(3) 振動データ表示:振動の演算値を選択します。

※ 既定値は、振動L10です。必要に応じて変更してください。

※ 1回に選択できるのは1項目です。複数項目が必要な場合は、複数回印刷してください。

【かんたんモード 月報の作成編】

(4)グラフ表示項目ヘルプ:「騒音・振動レベルについて」の解説が表示されます。

騒音・振動レベルについて ✕

騒音値	振動値		解説
L05	Lv05	時間率レベル	一定期間のデータを大きい順に並べなおし、上5%と下5%を取り除いた90%レンジの一番上の値
L10	Lv10		一定期間のデータを大きい順に並べなおし、上10%と下10%を取り除いた80%レンジの一番上の値
L50	Lv50		一定期間のデータを大きい順に並べなおした50%の値
L90	Lv90		一定期間のデータを大きい順に並べなおし、上10%と下10%を取り除いた80%レンジの一番下の値
L95	Lv95		一定期間のデータを大きい順に並べなおし、上5%と下5%を取り除いた90%レンジの一番下の値
Lmax	Lvmax	最大値レベル	一定期間のデータを大きい順に並べなおした一番上の値
Lmin	Lvmin	最小値レベル	一定期間のデータを大きい順に並べなおした一番下の値
Leq	Lveq	等価レベル	一定期間の変動騒音を、一定期間の平均値に変換した値

※環境省の法令では特定建設作業の騒音値はL05、振動値はLv10を使用するとされています。

4.①～⑥を選択したら、【レポート作成】をクリックします。

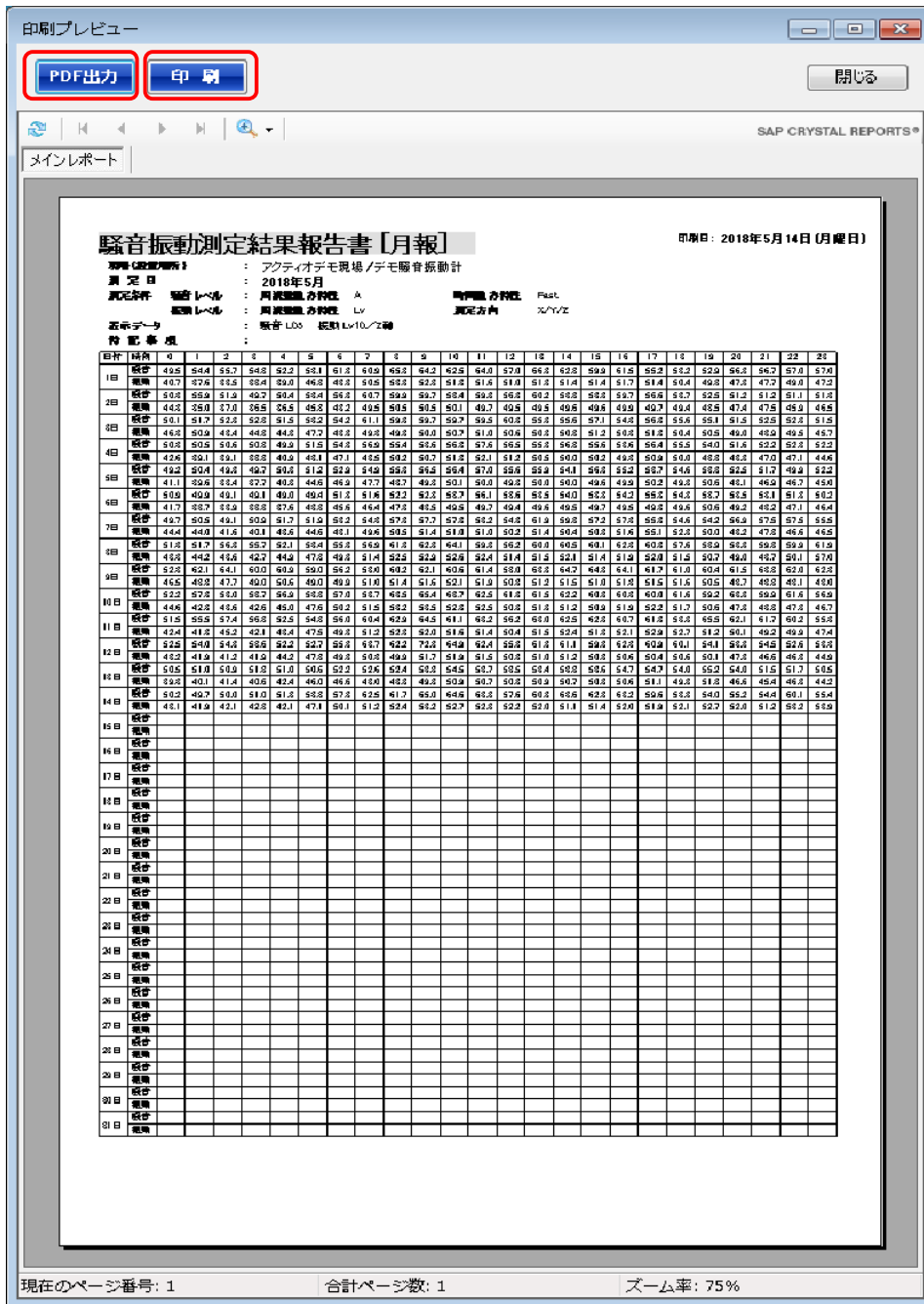
「レポートを作成中」メッセージが表示されます。

※ 現場名や設置場所名は、「レポート作成」をクリックすると保存されます。

The screenshot shows the '月報' (Monthly Report) window. At the top, there are fields for '測定月' (Measurement Month) set to '2018年05月' and '印刷日' (Print Date) with a checked box for '印刷日を出力する' (Output print date). A blue button labeled 'レポート作成' (Create Report) is highlighted with a red rectangle. Below this are input fields for '現場名' (Site Name) containing 'アクティオモ現場', '設置場所名' (Installation Location) containing '東側入口', and '特記事項' (Remarks). A '詳細設定' (Detailed Settings) section contains radio buttons for '表示振動方向' (Display Vibration Direction) with 'Z軸' (Z-axis) selected, and sections for '騒音データ表示' (Noise Data Display) and '振動データ表示' (Vibration Data Display) with 'Lv10' selected in both. A red arrow points from the 'レポート作成' button to a separate dialog box titled 'レポートを作成中' (Creating Report) which contains a loading spinner and the text 'しばらくお待ち下さい...' (Please wait a moment...).

【かんたんモード 月報の作成編】

5.上記のメッセージが消えると、月報のプレビュー画面が表示されます。



PDF出力・・・月報をPDF出力します。デスクトップなどに保存してください。
印刷・・・・・・月報をプリンタで印刷します。プリンタを選択してください。

※ 内容を変更したい場合は、「閉じる」をクリックし設定項目を変更してから、再度【レポート作成】をクリックしてください。

【かんたんモード 標準モードへデータ移管編】

7.標準モードへデータ移管

■ 標準モードへデータ移管手順 ■

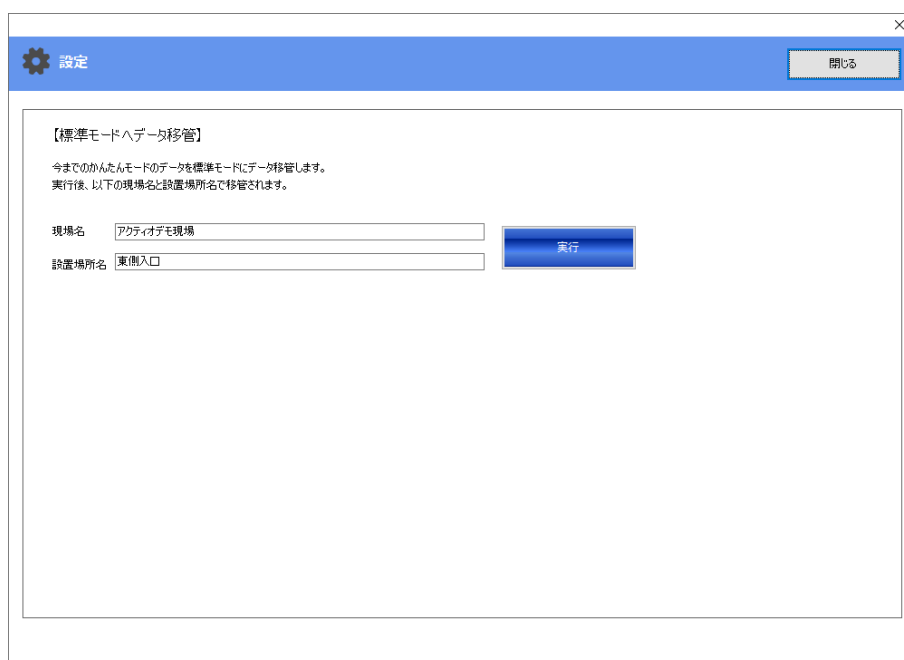
※ 標準モードへデータ移管は、新規現場でご利用される場合や標準モードでご利用される場合に実施します。
 (かんたんモードで以前のデータを表示しないようにします。)

※ CSVファイルを出力されたい方は、データ移管しなくても「標準モード」で起動すれば出力できます。

1.かんたんモード画面の「標準モードへデータ移管」をクリックします。



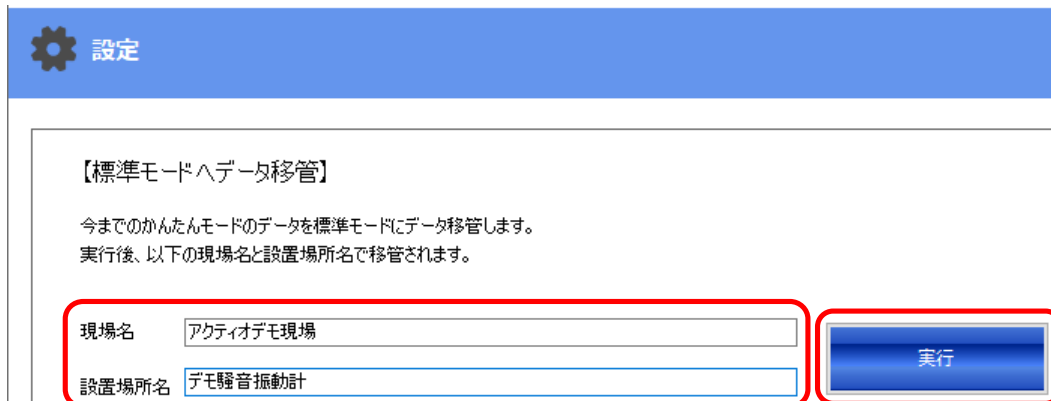
2.標準モードへデータ移管画面が表示されます。



【かんたんモード 標準モードへデータ移管編】

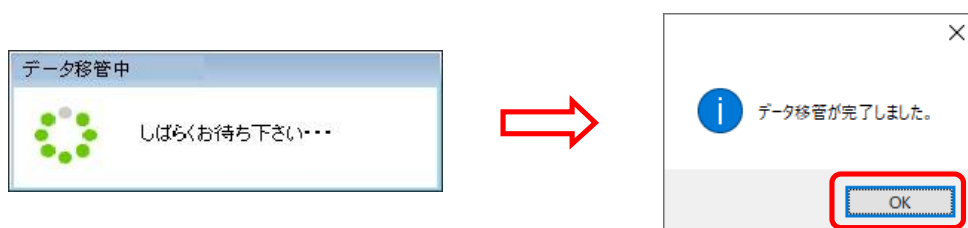
3.下記の①と②を入力します。

- ①現場名:現場名を入力します。
- ②設置場所名:EC-AKT02の設置場所名を入力します。



4.①と②を入力したら、「実行」をクリックします。

「データ移管中」から「データ移管が完了しました。」メッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。

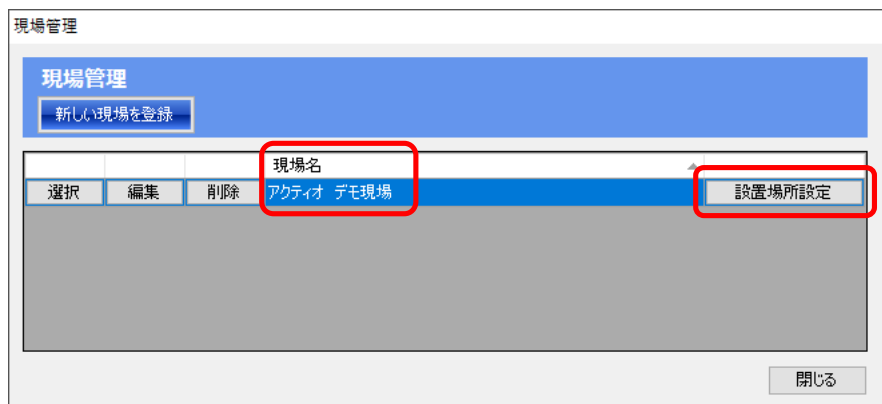


5.e-DamWinかんたんモードを終了します。

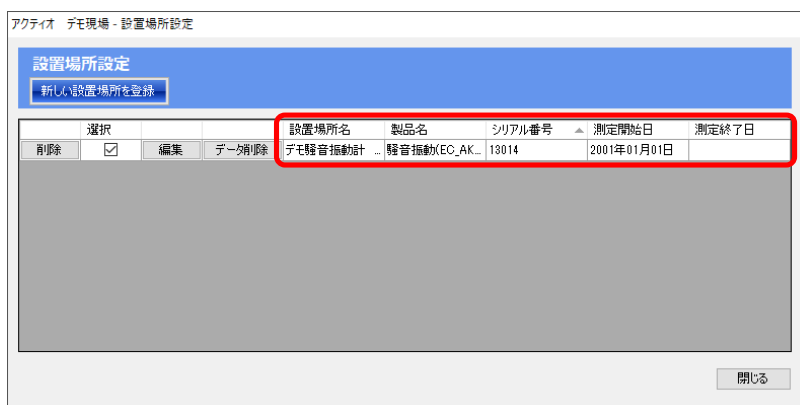


【かんたんモード 標準モードへデータ移管編】

6.次ページの「7.標準モードの起動」ページを参照し、標準モード画面から「現場情報」を開きます。
現場一覧に3.で入力した現場名があることを確認し、「設置場所設定」をクリックします。



7.「設置場所一覧」が表示されます。
設置場所一覧に3.で入力した設置場所があることを確認します。



8.「11.日報の作成」や「12.月報の作成」を参照し、日報や月報の印刷ができれば標準モードへデータ移管が完了します。
※ 標準モードへデータ移管が完了すると、かんたんモードで日報や月報の印刷はできません。
※ 標準モードへデータ移管が完了すると、かんたんモードへは戻せません。

【標準モード 起動編】

※ソフトを起動する際に必ず付属のUSBキーを挿し込んでください。

USBキーを挿し込まないとソフトが起動しません。

※初めてUSBキーを挿し込む際は、挿し込んで1分程度経ってからソフトを起動してください。

待たずに起動しようとすると起動できない場合があります。

8.標準モードの起動

■ 標準モードの起動手順 ■

1.e-DamWin with EC-AKT02を起動すると、毎回「モード選択画面」が表示されます。

現場で2台以上ご利用される場合は、「標準モード」を選択します。



続きましては、現場名の登録へ進みます。

裏面をご覧ください。↓

【標準モード 現場名の登録編】

9.現場名の登録

■ 現場名の登録手順 ■

- 1.e-DamWin with EC-AKT02の初回起動時に現場管理画面が表示されます。
初回起動時以外はメイン画面の【現場情報】をクリックし現場管理画面へ移動します。
【新しい現場を登録】をクリックすると下図の画面が開きます。

- 現場名(日本語可・64文字内)を入力し、【決定】をクリックすると現場名が登録されます。
【キャンセル】をクリックした場合は、登録されません。
※現場名がフォルダ名になるため、フォルダ名に使えない文字は入力できません。
(例:半角の?<>*などは現場名に使用できません。)
※大文字/小文字の違いによる現場名は「同一名」と判断し、重複エラーとなります。
(例:「GENBA」と「genba」の場合、後に登録した方がエラーとなります。)

- 2.下図の通り1.で入力した現場名が現場管理画面に表示され、現場名の登録が完了します。

選択	編集	削除	現場名	設置場所設定
			アクティオデモ現場	

- 続きましては、設置場所情報の登録へ進みます。
【設置場所設定】をクリックし裏面をご覧ください。↓

【標準モード 設置場所情報の登録編】

10.設置場所情報の登録

■ 設置場所情報の登録手順 ■

- 1.現場を登録した後は、機材の設置場所情報を登録します。
【新しい設置場所を登録】をクリックすると下図が開きます。

アクティオ - 設置場所編集

設置場所 カスタム設定 振動(X軸、Y軸)を表示する

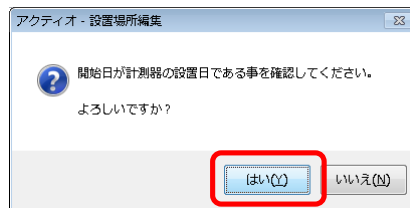
製品名 シリアル番号 <下3桁>

開始日 終了日 未定 2020年 3月 9日

下記の①～⑤を入力・選択します。

- ①設置場所名:日本語可・64文字内で入力します。(例:東側 など)
※設置場所名がフォルダ名になるためフォルダ名に使用できない文字は使えません。(例:半角の? < > * など)
※大文字/小文字の違いは「同一名」と判断し重複エラーとなります。(例:大文字の「GENBA」と小文字の「genba」など)
- ②製品名:EC-AKT02の場合は、騒音振動(EC-AKT02)を選択します。
EC-AKT01の場合は、騒音振動(SSD)を選択します。
- ③シリアル番号:機材のシリアル番号を入力します。
EC-AKT02の場合は、頭が「13」の後に下3桁を入力します。
EC-AKT01の場合は、頭が「05」の後に下3桁を入力します。
※機材の付属ソフトパッケージにシリアル番号が貼付されています。
※または、EC-AKT02本体の操作パネルでメニューボタンを2回押すとシリアル番号が表示されます。
- ④開始日:開始日は、使用を開始する日の1日以上前を選択します。(上図の使用開始日は、2018年5月1日です)
終了日:終了日は【未定】にチェックを付けます(日付を指定する必要はありません)
- ⑤カスタム設定:振動値のXY軸データが必要な場合にチェックを付けます。
※チェックを付けるとXYZ軸のデータを取り込みます。
- ①～⑤の入力・選択が完了したら、【決定】をクリックします。

- 2.下図のメッセージが表示されますので、【はい】をクリックします。



- 3.下図の通り1.で入力した設置場所情報が表示され、設置場所情報の登録が完了します。
現場に設置されている機材は、全て登録してください。
設置場所設定の【閉じる】をクリックし、現場管理の【閉じる】をクリックします。

アクティオ - 設置場所設定

設置場所設定

選択	削除	編集	データ削除	設置場所名	機材名	シリアル番号	開始/終了日	選択終了日
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	デモ騒音振動01	騒音振動EC_AKT02	13001	2018年05月01日	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	デモ騒音振動02	騒音振動EC_AKT01	05014	2018年06月01日	

続きましては、SDカードのデータ取り込み方法へ進みます。
【標準モード SDカードデータ取り込み編】をご覧ください→

【標準モード SDカードデータ取り込み編】

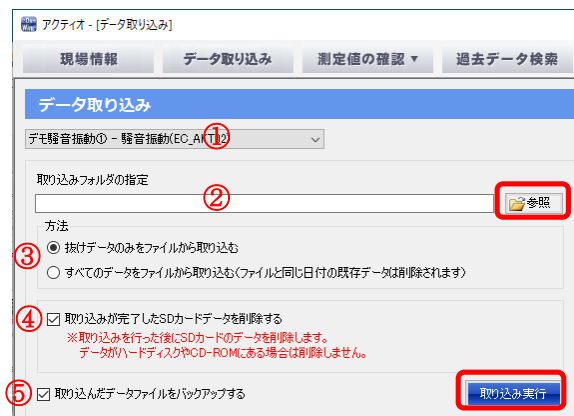
11.SDカードデータ取り込み

■ SDカードデータ取り込み手順 ■

- 1.現場管理画面を閉じるとメイン画面が表示されます。
SDカードをパソコンへ挿し込み下図の【データ取り込み】をクリックします。
※SDカードスロットがない場合は、SDカードリーダーをご用意ください。

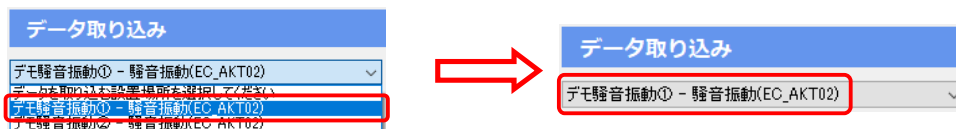


- 2.データ取り込み画面が表示されます。

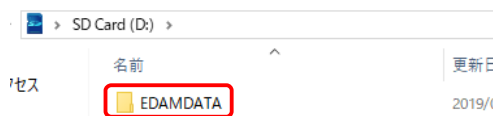


下記の①～⑥を選択します。

- ①設置場所選択:事前に登録した設置場所を選択します。
※ 複数台使用している場合は、SDカードのデータを取り込みたい機材を選択します。



- ②取り込みフォルダの指定:【参照】をクリックし、SDカード内の【EDAMDATA】フォルダを選択します。



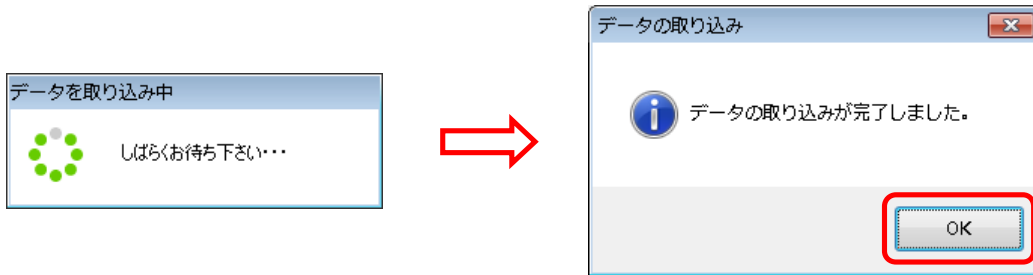
- ③方法:SDカードからデータを取り込む方法を下記から選択します。
抜きデータのみ・・・SDカードのデータをパソコンに取り込んでなければ保存します。
※ 午前と午後に分けて取り込む場合は必ず選択して下さい。
全てのデータを・・・SDカードのデータをパソコンへ全て上書き保存します。
④SDカードデータ削除:SDカードからデータ取り込みが完了したら、データを削除します。
※ SDカードデータの取り込みが完了しない場合もあるため、チェックは外してください。
⑤取り込んだデータのバックアップ:SDカードから取り込んだデータをパソコンへバックアップします。

- ※ 取り込むデータ量が多い場合、取り込みに時間がかかる場合があります。
※ 1回で取り込む期間は、1週間を目安にしてください。

【標準モード SDカードデータ取り込み編】

3.①～⑤を選択したら、【取り込み実行】をクリックします。

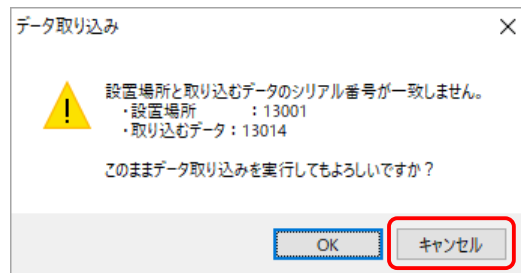
データ取り込み中となり、「データの取り込みが完了しました。」メッセージが表示されたら【OK】をクリックしデータ取り込みが完了します。



※ 下記のメッセージが出た場合はSDカードのデータと選択した機材が合っていないので、【キャンセル】をクリックして取り込みを中止し、機材のシリアルNo.を確認してください。

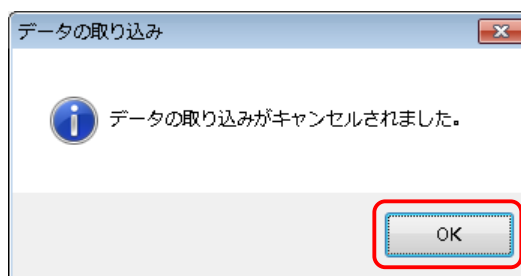
※ シリアルNo.の確認方法

- EC-AKT02の裏蓋を開け、メニューボタンを2回押すとシリアルNo.が表示されます。
- CD-ROMのパッケージにシリアルNo.シールが貼ってあります。



※ 下記のメッセージが表示された場合は、SDカードから直接データの取り込みができませんので、【OK】をクリックしてメッセージを閉じます。

下記の事項を確認し実施してください。



◆確認事項

SDカード内にデータが入っているか

SDカード内に下記のフォルダ及びファイルがあるか確認してください。

フォルダ:【EDAMDATA】

ファイル:.ELD拡張子のファイル

データが入っている場合

SDカード内の【EDAMDATA】フォルダをデスクトップへコピーし、デスクトップから取り込みをしてください。

データが入っていない場合

SDカード内に【EDAMDATA】フォルダ及び.ELDファイルが入っているSDカードを挿入してください。

続きましては、日報の作成方法へ進みます。

【標準モード 日報の作成編】をご覧ください→

【標準モード 日報の作成編】

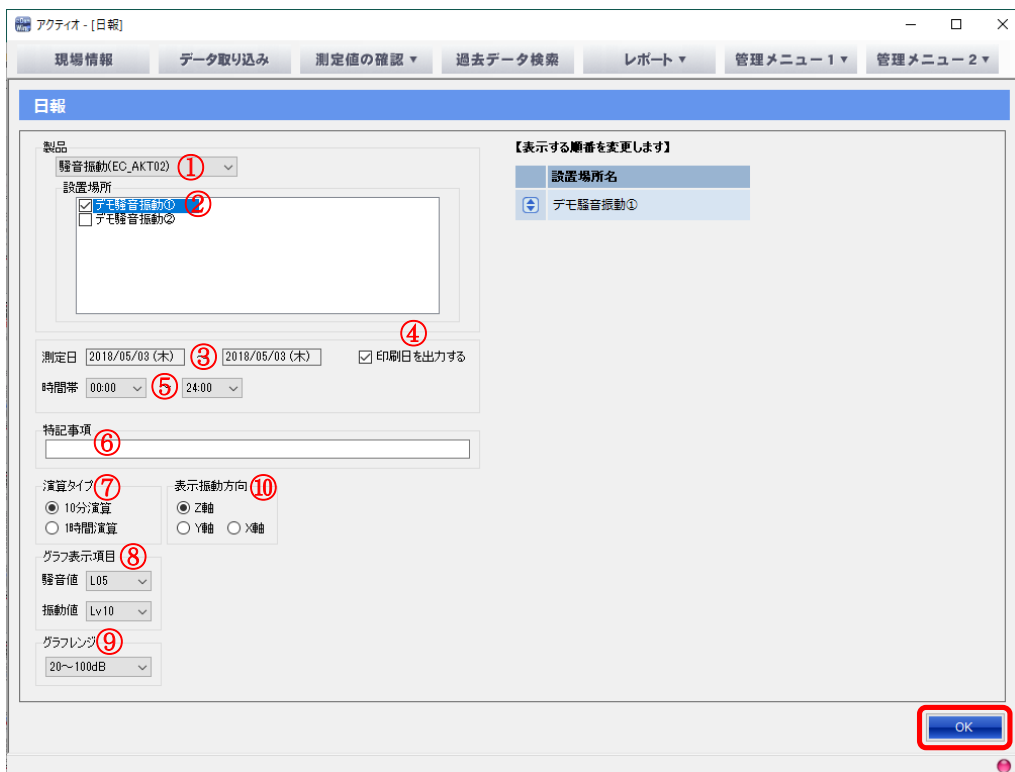
12. 日報の作成

■ 日報の作成手順 ■

1. メイン画面の【レポート】の【日報】をクリックします。

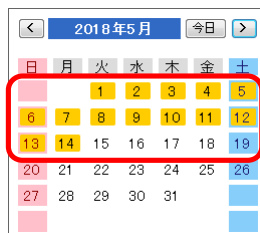


2. 下図の日報作成の画面が表示されます。



3. 下記の①～⑨を選択します。

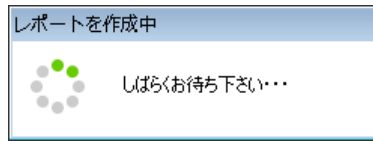
- ①製品: EC-AKT02の場合は、騒音振動(EC-AKT02)を選択します。
EC-AKT01の場合は、騒音振動(SSD)を選択します。
- ②設置場所: 日報を作成する設置場所を選択します。複数選択(チェック付け)も可能です。
- ③測定日: 日報を作成する日付を選択します。
測定日の枠内(日付の文字)をクリックするとカレンダーが表示されます。



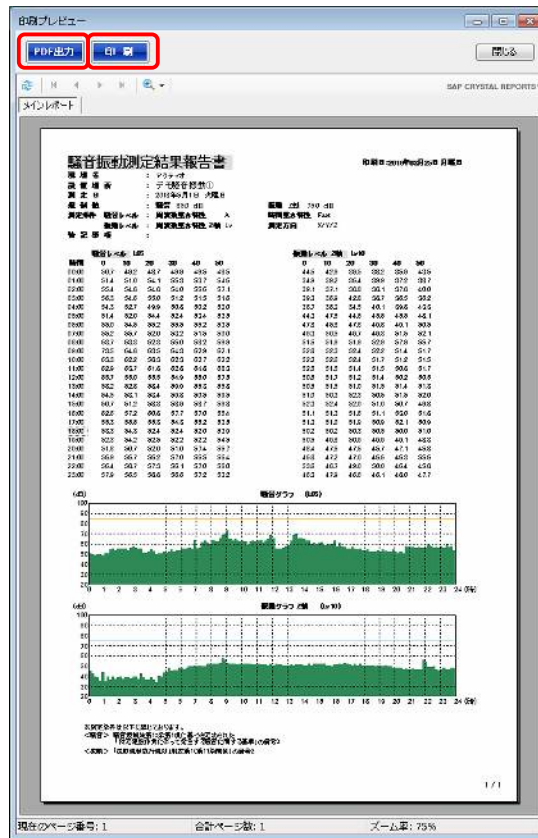
日付はカレンダーの数字をクリックします。
背景がオレンジ色の日が、印刷データがあります。

【標準モード 日報の作成編】

- ④印刷日を出力する: 日報に印刷日を入れる場合に選択します。
 - ⑤時間帯: 日報に計測値を記載する時間帯を選択します。
 - ⑥特記事項: 日報に記載する特記事項を入力します。入力をしなくても構いません。
 - ⑦演算タイプ: 10分 or 1時間を選択します。
 - ⑧グラフ表示項目: 日報に表示するグラフの騒音値・振動値の項目を選択します。
 - ⑨グラフレンジ: 日報に表示するグラフのレンジ幅を選択します。
 - ⑩表示振動方向: 日報に表示する振動値の計測方向を選択します。
- 3.①～⑩を選択したら、【OK】をクリックします。
「レポートを作成中」メッセージが表示されます。



4.上記のメッセージが消えると、日報のプレビュー画面が表示されます。



PDF出力・・・日報をPDF出力します。デスクトップなどに保存してください。
印刷・・・・・・日報をプリンタで印刷します。プリンタを選択してください。

※ 内容を変更したい場合は、「閉じる」をクリックし設定項目を変更してから、再度【OK】をクリックしてください。

続きましては、月報の作成方法へ進みます。
【標準モード 月報の作成】へお進みください。→

【標準モード 月報の作成編】

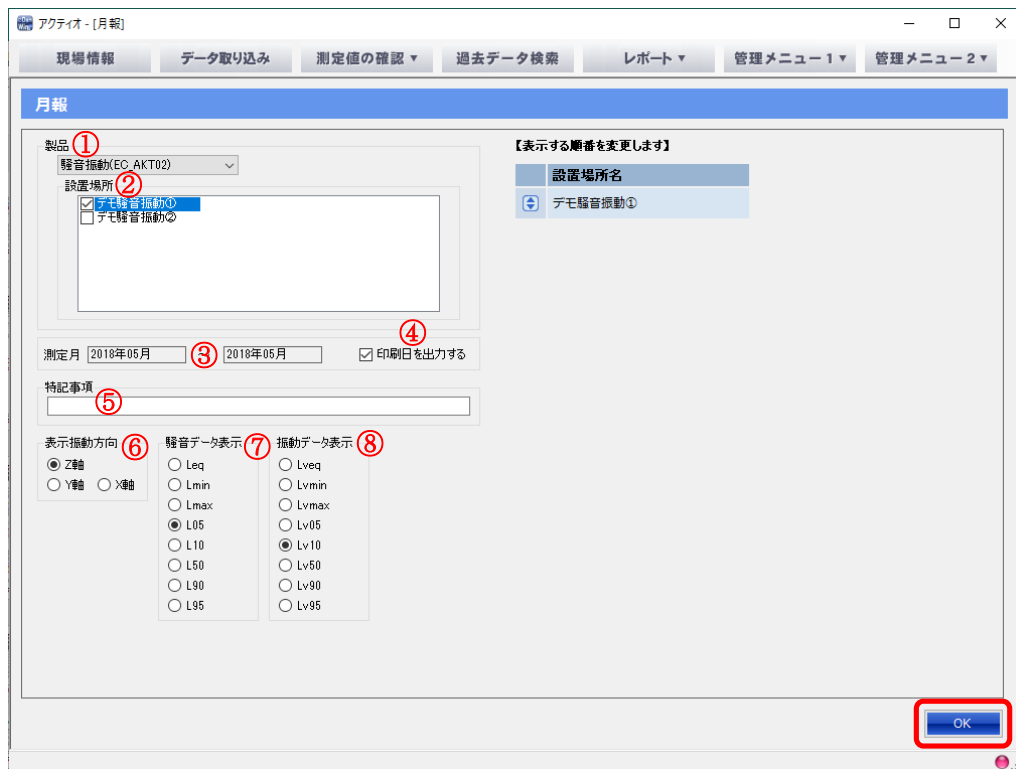
13.月報の作成

■ 月報の作成手順 ■

1. メイン画面の【レポート】の【月報】をクリックします。

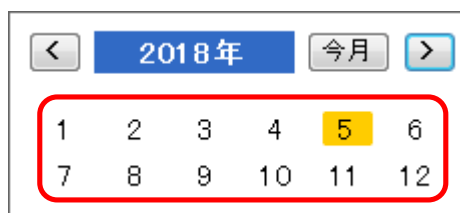


下記の月報画面が表示されます。



2. 下記の①～⑧を選択します。

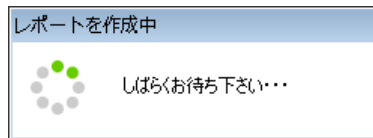
- ①製品:EC-AKT02の場合は、騒音振動(EC-AKT02)を選択します。
EC-AKT01の場合は、騒音振動(SSD)を選択します。
- ②設置場所:月報を作成する設置場所を選択します。複数選択(チェック付け)も可能です。
- ③測定月:月報を作成する月を選択します。
測定月の枠内(月の文字)をクリックするとカレンダーが表示されます。



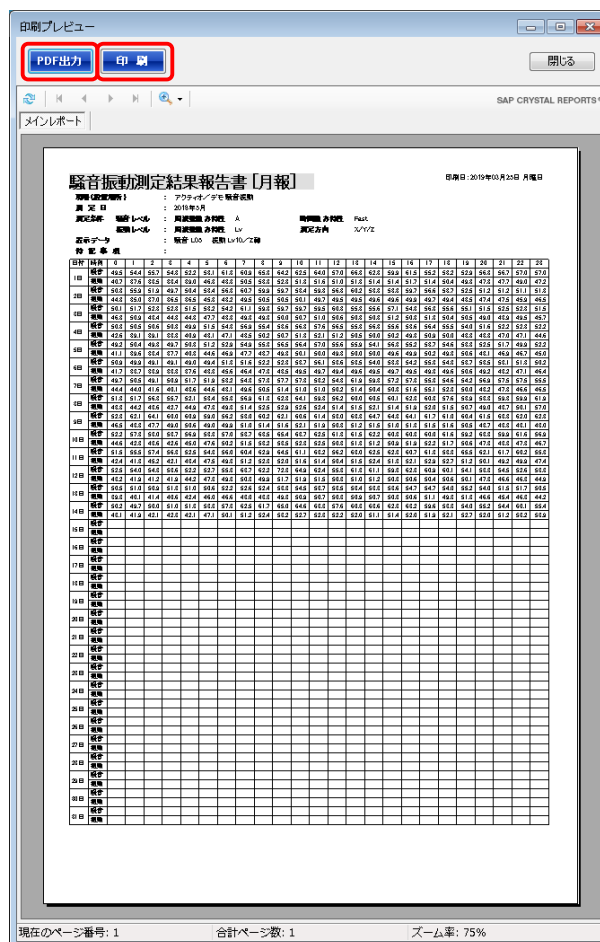
月はカレンダーの数字をクリックします。
背景がオレンジ色の月が、印刷データがあります。

【標準モード 月報の作成編】

- ④印刷日を出力する: 月報に印刷日を入れる場合に選択します。
 - ⑤特記事項: 日報に記載する特記事項を入力します。入力をしなくても構いません。
 - ⑥表示振動方向: X・Y・Zから選択します。
※ 指定がない場合はZを選択します。
 - ⑦騒音データ表示: 月報に表示する騒音値の項目を選択します。
※ 指定がない場合はL05を選択します。
 - ⑧振動データ表示: 月報に表示する振動値の項目を選択します。
※ 指定がない場合はL10を選択します。
- 3.①～⑧を選択したら、【OK】をクリックします。
「レポートを作成中」メッセージが表示されます。



4.上記のメッセージが消えると、月報のプレビュー画面が表示されます。



PDF出力・・・月報をPDF出力します。デスクトップなどに保存してください。
印刷・・・・・・月報をプリンタで印刷します。プリンタを選択してください。

※ 内容を変更したい場合は、「閉じる」をクリックし設定項目を変更してから、再度【OK】をクリックしてください。